

衛星測位をもっと扱いやすく確かなものに 高精度位置認証試験システムの開発

より強く
産学官の
連携

概要

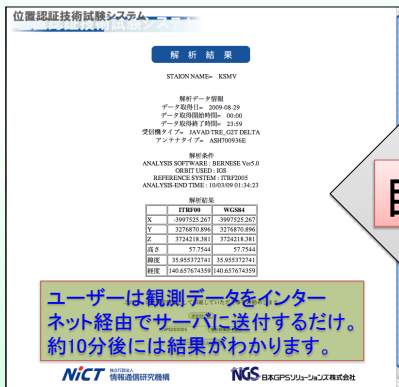
GPSに代表される衛星測位技術。測量の分野では、3次元的にミリの精度が達成されています。一方で、そのような高精度の測位結果を得るには専門的な知識が不可欠であり、求められた位置がどの程度正確かの保障はありません。

NICTでは、誰でも簡単に最高精度の測位結果を手にでき、かつその位置の認証をも実現するためのシステム開発を進めています。

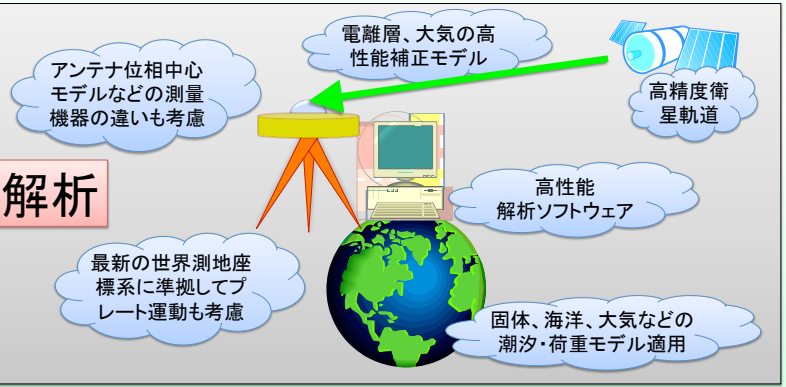


特徴

- ミリ精度の測位結果を得るために、最新の測地学成果に基づく最高水準の測位解析を専用サーバで実施しています。ユーザー側に専門知識は不要です。
- わが国の地図の基準である「測地成果2000」、及び最新の世界測地系「ITRF2005」のそれぞれに準拠した測位結果を出力できます。



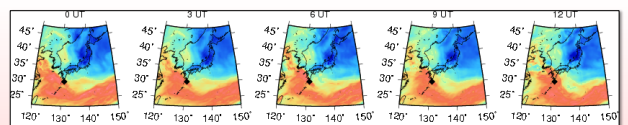
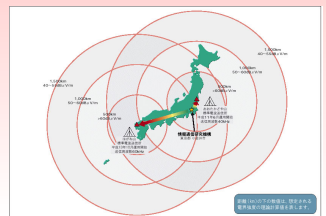
自動解析



今後の展開と応用分野

- 日本標準時と組み合わせて時間・空間の双方で正確な認証をめざします。
- 電離層や大気での伝播誤差を軽減するための高性能モデルを開発中です。
- 定常的な地殻変動を考慮した位置認証も将来可能となります。
- 数cmから数10cm程度の低精度での位置認証技術の開発も進めています。

標準電波によって供給される日本標準時に準拠した時刻認証を組み合わせ、高精度の時空認証をめざす



対流圏での電波伝播誤差も毎日の天気予報で使用する気象モデルを用いて除去し、さらに精度向上をはかります。